論文を公募します！

**『新社会学研究』第六号特集（2021秋刊行予定）の論文公募**

【テーマ：流行と集合行動の社会学】

戦後日本は多くの人々が巻き込まれる、大規模な

流行現象を何度も経験してきた。玩具の事例を

紐解けば、古くはフラフープ、ダッコちゃん、

その後のフリスビー、たまごっち、などが

挙げられる。情報機器では、ポケベルやPHSの

ブームもすでに四半世紀の過去のものとなった。

飲食品での近年の大流行と云えば、タピオカ・

ドリンクであろう。第三次ブームにあたる

一昨年からの趨勢は頗る規模が大きく、

Instagramでの写真投稿との相性も良く、

若年層女性を中心に人気を獲得してきた。

本公募特集では、商品やサービスの普及

すなわち消費行動やライフスタイルにおける

流行はもちろんのこと、これらに加えて、

特定の信念や行動様式の伝播や浸透が

ストリートでの集合行動、社会運動、そして、

時には暴動にまでも転化してゆく局面や過程

を視野に収めた論考も併せて掲載対象として

扱う。もちろん、近年の、Covid-19 を含む、

疾病感染等によるパニックや社会不安も

その射程のうちだ。理論的もしくは学史的考察、

データに基づく考察、何れも大歓迎。

「流行と集合行動の社会学」をテーマとした

意欲的な諸研究の応募を望む。

【公募エントリー方法】

論文題目、概要、独創的な主張点等を2000～2500字

でまとめ、氏名、所属、連絡先アドレスを記した

エントリーシート（書式自由、PDF）を、メールの

タイトルに必ず【公募エントリー】と記した上で、

『新社会学研究』編集同人事務局へ送ってください。

【公募エントリー〆切】

2020年11月27日（金曜）

【査読について】

　■ 論文主題や主張の独創性を中心に、編集同人によって、

エントリーシートを検討します。内容によっては

同人以外の社会学研究者に参考意見を求めることも

あります。3～4名に論文執筆を依頼する予定です。

　■ 一次審査通過者の論文〆切は、2021年2月19日（金曜）

です。

　■ 提出された論文は、編集同人が査読し、適宜修正を

依頼し、完成をめざします。

　■ 論文の分量は（注、文献表示、図表も含み）20000字

です。執筆スタイルは、『社会学評論スタイルガイド（第3版）』

https://jss-sociology.org/bulletin/guide/

に準拠してください。

【エントリーシート送付先】

『新社会学研究』編集同人事務局

（甲南大学文学部社会学科栗田宣義研究室内）

メールアドレス　nekotarokurita(@)gmail.com

（メールアドレスは，@の両脇の丸括弧を取って下さい）

【編集同人】

好井裕明 三浦耕吉郎 小川博司 樫田美雄 栗田宣義

同人ウェブサイト　https://js2016.blog.wox.cc/

（上記ＷＥＢサイトは，2020年5月2日から新サイトアドレスに！）